

2024 年度 高 3 コミュニケーション英語Ⅲ シラバス

1. 授業概要

- ・週 4 時間の習熟度別リーディング中心の英語授業

2. 到達目標

[コミュニケーション英語Ⅲ]

- ①幅広いテーマを扱った長文読解を通して、各分野の関心と知識を深め、そのテーマに沿った自分の考えを論理的に英語でまとめる力を養成する。
- ②大量の英文を速く正確に読むために必要な語彙力、パラグラフ・リーディングや要約、スキミング、スキヤニングといった読解力を養成する。
- ③高い読解力が必要とされる大学入試問題を解きながら入試問題に慣れるとともに、入試に対応できる学力、応用力を養成する。
- ④目安として、A クラスの生徒は英検準 1 級 (CEFR B2) を目指し、他は 2 級 (CEFR B1) を目指す。

	英検 スコア CEFR B1～B2	CAN-DO
読むこと	600 (準 1 級) 510 (2 級)	・社会的な話題や時事問題について書かれている説明や評論などを辞書を使わずに速読して、複数の視点の相違点や共通点を比較しながら、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・社会的な話題や時事問題について書かれている説明や評論などを精読して、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・平易な英語で書かれた長めの物語の筋を理解することができる。(CEFR-J B1.2) ・学習を目的として書かれた新聞や雑誌の記事の要点を理解することができる。(CEFR-J B1.1)
聞くこと	600 (準 1 級) 510 (2 級)	・教材のリスニングや音読を通して、まとまった内容を、流れをつかんで聞くことができる。 ・自然な速さの録音や放送（天気予報や空港のアナウンスなど）を聞いて、リーディングで扱った教材に関連のある、具体的な情報の大部分を聞き取る事ができる。 ・はっきりとなじみのある発音で話されれば、身近なトピックの短いラジオニュースなどを聞いて、要点を理解することができる。(CEFR-J B1.2)
書くこと	600 (準 1 級) 510 (2 級)	・読解で扱ったテーマについて、根拠と共に自己の意見を論理的に述べることができる。(50 語程度) ・読んだり聞いたりして理解した内容をメモに取ってノートにまとめたり、文字で整理することができる。 ・新聞記事や映画などについて、専門的でない語彙や複雑でない文法構造を用いて、自分の意見を含めて、あらすじをまとめたり、基本的な内容を報告したりすることができる。(CEFR-J B1.2)
話すこと (やりとり) (発表)	512 (準 1 級) 460 (2 級)	・読解で扱った内容について、グループで話し、自分の言葉で要約を発表できる。 ・ある程度なじみのあるトピックならば、新聞・インターネットで読んだり、テレビで見たニュースの要点について議論することができる。(CEFR-J B2.1) ・身近なトピック（学校・趣味・将来の希望）について、簡単な英語を幅広く使って意見を表明し、情報を交換することができる。(CEFR-J B1.1)
合計	B1 1950～2300 B2 2300～2600	-

3. 教材

過去の入試問題を中心に、各クラスで習熟度に合わせたレベルの長文教材を扱う。
各テストごとに、共通課題を課す。年間を通して様々なテーマの長文に触れ、知識を深める。

テーマ：1 学期中間「社会、文化」

1 学期期末「産業、科学」

2 学期中間「科学・技術」

2 学期期末「生物・科学」

4. 評価について

高3の学期及び学年成績 評価基準

ペーパーテスト (50点程度) 「知識」及び「技能」	ペーパーテスト (30点程度) 「思考・判断・表現」
定期考査	定期考査(英訳、和訳、説明)

※各学期合計を100点換算して学期評価を出す。

※学年全合計点200点 $[50 \times 4] \rightarrow 100$ 点換算して年度評価を出す。

5. 年間予定

[コミュニケーション英語Ⅲ]

年間を通して、共通課題において定期試験ごとにテーマを変え、大学入試問題より全範囲を網羅できるようにする。最新の社会問題の他、普遍的な内容など、取り扱う問題は年度を問わず、良問を選ぶようにする。共通範囲でカバーできない部分や、より掘り下げた内容を習熟度クラスで扱う。長文の長さは、500語程度から徐々に増やしていく。

2023年度共通課題

時期	共通課題テーマ
1 学期中間	産業・環境
1 学期期末	文化・社会
2 学期中間	科学・技術
2 学期期末	生物・科学